需要全本请访问 www.ertongbook.com

廣島文理科大學講師
理學士 梶山英二著

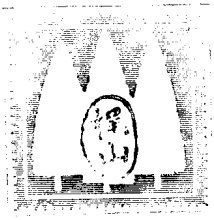
鯛

東京 杉山書店 發行

昭和十二年九月二十日印刷
昭和十二年九月二十三日發行

鋼

定價金二圓



著作者　梶山英二

東京市神田區神保町一ノ三十九番地
發行者　杉山市三郎

東京市牛込區辨天町百十七番地
印刷者　山崎康

東京市牛込區辨天町百十七番地
印刷所　開林堂印刷所

發行所　東京市神田區神保町一ノ卅九
振替東京六〇八七五番
杉山書

序

鯛は神代已にアカメと稱へられてその名がある、人皇になつてからは乾鯛或は鹽鯛として楚割鯛、掛鯛、鮫鯛等の名が延喜式其他に現はれ神前の机代物として或は冠婚儀典等の臺物として常に缺くべからざる唯一の魚となつて居る。

鯛は容姿が優美であつて外觀形態の比が極めてよく整つて居ること、味ひが高尚であつて營養に富むこと、更にメデタイのタイに通ずること等をあげるならば鯛が魚類の王座を占めること決して遁然のことではない、スルメ、コンブを壽留、喜ぶと語呂を通はせてメデタがるのとは全くその趣を異にするそれであるから鯛は國民精神作興の上から言つても疎かには出來ない魚と稱へることが出來る。

近時鯛業の進歩發達に伴つて漸くその產額減退の兆が顯れるに立ち至つた爲めに農林省の命を受け或は地方水產試驗場の特別なる援助を求め或は東照宮三百年祭記念會より奬學資金の交付を受け大正十一年から十有六年の間主と

して瀬戸内海に産する鯛の習性に關して調査研究を遂げたもの今回略々その完成を見たので此處にその堅きを碎いて發表することにした、本書尚完璧と稱ふるには足らないけれども世の識者の參考となるもの多々あることゝ信ずる。本書を發行するに當り恩師谷津先生の御手厚き御配慮と、テーマを下さつた故村上男爵の御督勵と、陰に陽に御援助下さつた故伊谷先生の御至情とに深く感謝するものである。

昭和十二年九月

比治山南麓寓居にて

著者識

需要全本请访问 www.ertongbook.com

本書の基礎には數へきれない多くの人々の手が添へられて居るのにその御芳名謹記の省略を不悪御宥しを乞ふ。

鯛

目次

まへがき……一
地形……二
一　海岸線の延長……二
二　深さと面積……二
三　潮流と潮時……四
四　地形概要……八
水産統計……一一
五　水産業者……一一
六　漁船數……一二
七　漁具數……一三
八　漁獲物……一三

鯛統計……一五
九　本邦産鯛の種類……一五
一〇　本邦産鯛産額……一八
一一　瀬戸内海産鯛産鯛……二三
水溫と鯛……二五
一二　冬眠……二五
一三　冬季の水溫……二六
一四　凍死……二八
一五　冷水波……二九
一六　水溫と游泳層……三一
産卵期……三三
一七　産卵期の見出し方……三三
一八　生殖腺の成熟度から産卵期の推定……三四
一九　漁獲數量の盛否から産卵期の推定……三五
二〇　稚魚成育度から産卵期の推定……三七

二一　産卵期と水溫……三九
産卵場……四〇
二二　特別産卵型と尋常産卵型……四一
二三　産卵行爲……四三
卵と幼生……四四
二四　生殖腺……四四
二五　卵の粒數……四五
二六　雌雄……四九
二七　産卵及び孵化……五〇
二八　孵化と日數……五一
二九　幼生……五三
稚魚の成育……五六
三〇　稚魚の成長度……五六
三一　稚魚の成育場……五八
三二　稚魚の天然餌料……六〇

三三　稚魚の越年……六二
二年鯛以上の廻游……六三
三四　二年鯛の廻游……六三
三五　三年鯛乃至四年鯛の廻游……六五
三六　五年鯛の廻游……六七
三七　六年鯛以上の廻游（附産卵廻游）……六八
三八　豊後水道、紀伊水道及び下關海峽の鯛……七〇
三九　標識放流……七二
四〇　年輪……七三
四一　年齡體長及目方の關係……七五
外部形態……七九
四二　鯛の學術的形態と各部の比……七九
四三　眼の直徑と吻長……八三
四四　鰭……八六
四五　光線と鯛……八七

四六　鯛の色……九〇
四七　保護色擬態及び警戒色……九三
鯛と人生……九四
四八　夏鯛と冬鯛との習性……九四
四九　鯛の味……九五
五〇　鯛の名所……九七
五一　呼吸……九九
五二　潜水病と鯛……一〇一
五三　浮鯛……一〇三
五四　鯛の畸態と寄生虫……一〇六
保護蕃殖……一〇七
五五　生存競爭……一〇七
五六　濫獲酷漁……一〇九
五七　平衡の法則と生物學的最小形……一一
五八　增殖……一一三

需要全本请访问 www.ertongbook.com

五九　人工孵化放流……一二五
六〇　稚魚の養成……一二七
六一　蓄養……一二八
瀬戸内海産鯛に關する説……一三〇
六二　在來説即ち入込説……一三〇
六三　自説（梶山説）即ち非入込説……一三〇
鯛漁業……一三四
六四　釣具……一三六
六五　餌料……一三七
六六　漁場……一三八
六七　五智網……一三〇
六八　鯛網及び縛網……一三一
六九　桝網又は壺網……一三四
七〇　打瀬網……一三五
七一　鳥付漕釣漁業……一三七

七二　ふかせ釣……一三九
七三　かのう釣とにごり釣……一四一
七四　たて釣こぎ釣おつかけ釣……一四二
七五　延　縄……一四三

鯛

まへがき

梶山英二著

瀬戸内海は一の湖水にも譬へ得べき海面であるにも係らず、數十種を數へ得べき漁具は内海至る處に於て其能力を發揮し、各種成魚は云ふに及ばず發育日尚淺き各種稚魚をも盛んに漁獲を逞しくして居る現狀にある、瀬戸内海の魚族は一朝有事の際には國民の保健用食料としての蛋白質供給源として重大な使命を有する性質のものであるからその合理的漁獲統制は一日も早く考究せられなくてはならないものである。

瀬戸内海は水溫、鹽分、營養物質等から推理するときは各種魚族の成育に極めて良好なる海面であつてその生産能力の大なること蓋し極限に近いものがあらう。著者の計算による推定經濟的年産額は貝類及び藻類を除き二千六百萬貫乃至三千萬貫に達する。從つて味の劣る、成長度の鈍い魚類は之を天然餌料となし、味の優れたる成長度の速かなる魚類は務めて之を生産する樣に内海漁業を整理統制するならば民福の增進に貢獻する處蓋し大なるものがあらう。これが實現に當つては重要魚類の習性の明かなるものがなくてはならない。著書が瀬戸内海産鯛の生活史研究に沒頭した理由實に此處にある。

地形

一　海岸線の延長

瀬戸内海の周圍を近畿、中國、九州、四國の四區に分け、更に陸側と島嶼側とに分けて海岸線の延長を示すと表の如くなる。

	近畿	中國	九州	四國	合計
陸側	二六八、〇粁	一一五九、七粁	三三四、一粁	六五一、六粁	二四一三、四粁
島嶼	一六五、一	一二一七、五	二五、一	七四九、一	二一五六、八
計	四三三、一	二三七七、二	三五九、二	一四〇〇、七	四五七〇、二

島嶼は廣島縣及び愛媛縣の中間にその六〇%が、又岡山縣及び香川縣の中間にその三〇%がある。島嶼は淡路島の一島二郡、屋久島及び小豆島の各一島一郡の大なるものから僅かに數本の松を生ぜる猫額の小なるものに至る迄を併せるとその數大凡二百五十個に達する。島嶼の數が多く而もその海岸線の長さが陸側に略等しいことは瀬戸内海の水産的生産能力の大きいことを示す一の因子となる。

二　深さと面積

瀬戸内海は深さ五十米以内がその大部分を占めて居るけれども殊に十米乃至三十米の部分が廣く存在して居る。淺い區域は豐前海、備後灘、大阪灣に廣く播磨灘之に次ぐ、廣島灣は比較的深い、深さ五十米乃至七十米は深海部に屬し伊豫灘にその大部分がある、尙廣島灣、安藝灘、備讃瀬戸にも點在する、深さ七十米乃至百米以上の深い部分はその大部分が速吸瀬戸附近に存在して居るが尙明石海峽、鳴門、友ケ島水道、安藝灘にも小區域に點在する、深さ二百米以上の部分は速吸瀬戸附近にあるのみである、今深さと面積とを示すと次の表の如くなる、尙平均の深さは二八・一米である。

	島嶼	海						面		
深さ(米)	—	干潟	0—10	10—20	20—30	30—40	40—50	50—60	60—100	100以上	計	合計
面積(方粁)	一三二、五	三三一、七	二五五、三	四五五、五	三六八、五	三七四、二	一九八、八	三九七、〇	四四八、七	二九、五	八三八、三	一九五九、七

豐後水道はその大部分が深さ七十米乃至百米であつて岸近かに於てさへも深さ七十米以内の部分は狹い、卽ち一般的に岸深かである。南部は深さ百米を越え更に接して二百米を越える。

紀伊水道はその中央の大部分は深さ五十米乃至七十米であるけれども西岸に接近すれば淺くなり深さ五十米以内の部分亦相當に廣く、殊に阿淡側に於ては深さ三十米以内の部分さへ割合に廣い。從つて豐後水道よりは一般に淺い、南部は深さ百米を越え更に接して二百米を越える。

下關海峽は狹く且つ淺く深さ二十米以内がその大部分を占めて居り、僅かに最狹部早鞆瀨戸附近に深さ三十米の深みがあるのみである。

豐前海、廣島灣奥部、備後灘、備讃瀨戸、播磨灘の淺いのは稚魚の發生、成育と密接な關係があり、伊豫灘の廣く且つ深いのは未成魚及び成魚の大棲息場たる要素となる、安藝灘及び淡路島周圍の深みは鯛の棲息場或ひは越年場として重要であるけれども、その面積の狹いのを遺憾とする。つまり鯛を包容する力に乏しいから濫獲酷漁に陷入り易い場處と云ふことになる。豐後水道と紀伊水道とを比較するに深海部の廣い前者に鯛の棲息數量が多からうと思はれるけれども、水溫と密接な關係があるから更に記述することにする。

三　潮流と潮時

瀨戸内海は豐後水道及び紀伊水道の深さの割合に一般的に淺いから兩水道を通過した潮汐波はそのエネルギーを蓄積して瀨戸内海の潮差（干滿の差）を大ならしめて居る、潮汐流は潮差に比例するものであるけれども加ふるに瀨戸内海に散在する大小二百五十個に及ぶ島嶼は潮汐波の進行を妨げるから潮汐流を一層大ならしめて居る。

月が東經百三十五度の子午線を通過してから六時間目に紀伊水道の入口（日御岬伊島間）が滿潮時となり八時間目に豐後水道速吸瀨戸が滿潮時となる。かくて時間の經過と共に滿潮時が瀨戸

需要全本请访问 www.ertongbook.com